

2020（令和2）年度

教育部運営方針

教育部長	木村真彦
教育副部長	堀本昌宏
教育副部長	神代雅光
教育副部長	村田泰伸

地球温暖化による積雪不足、若者の人口流出、スキー人口の減少等、スノースポーツを取り巻く苦しい環境が続いている。その中で、教育部既存の各行事であるジュニアスノースクールや各講習会の一層の充実を図り、新規事業の開拓・既存事業の見直しをすることを通して、スノースポーツの活性化を図りたい。

I. 講習会内容の充実

- ① 各委員会の積極的な取り組み
- ② 運営の工夫による行事の充実（若手指導員の積極的な活用）
- ③ 新規事業の開拓、既存事業の見直し（県技選等）

II. 次代を担う指導者の育成

- ① 指導活動の場の提供（所管行事委員会中心での行事運営と改革）
- ② 委員長・副委員長の組織運営への係わりの強化
- ③ S A J 指導者研修会の本県主管開催の維持・継続
- ④ 指導員・準指導員受検者の増加対策

III. 競技部との連携

- ① 競技選手増加の為の側面支援・応援
- ② 競技会への運営協力、参加促進

IV. 中長期ビジョン

- ① スノースポーツ人口の減少、少子高齢化の時代の移り変わりに即した、活動基盤の見直し
- ② スキーヤー・スノーボーダーの増加施策